

WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOICHHAMA

★☆☆☆☆
Win Effect Racing
北陸自動車競技グループ

アルファプロデュース

NUTEC

JMS

AD アイシン開発

ETAS

ENTERFAME

KBC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILLION

NEOSUN 信濃商品 TOKOH

WedsSport

Racing Team

with BANDOH

2009 SUPER GT Rd..8 AUTOPOLIS GT300km RACE



- 開催日:2009年10月17日~18日
- コース:オートポリス(全長4.674km)
- 天候:<予選>曇 <決勝>晴
- 路面コンディション:<予選>ドライ <決勝>ドライ
- チーム:WedsSportRacingTeam with BANDOH
- 車名:ウェッズスポーツIS350 <GT300 ゼッケン19>
- ドライバー:織戸 学 / 片岡 龍也
- 監督:坂東正敬
- 観客動員数:予選14,300人 / 決勝28,050人

天王山！チャンピオンの行方を決めるオートポリスはどこが制するか！

11月17日(土)

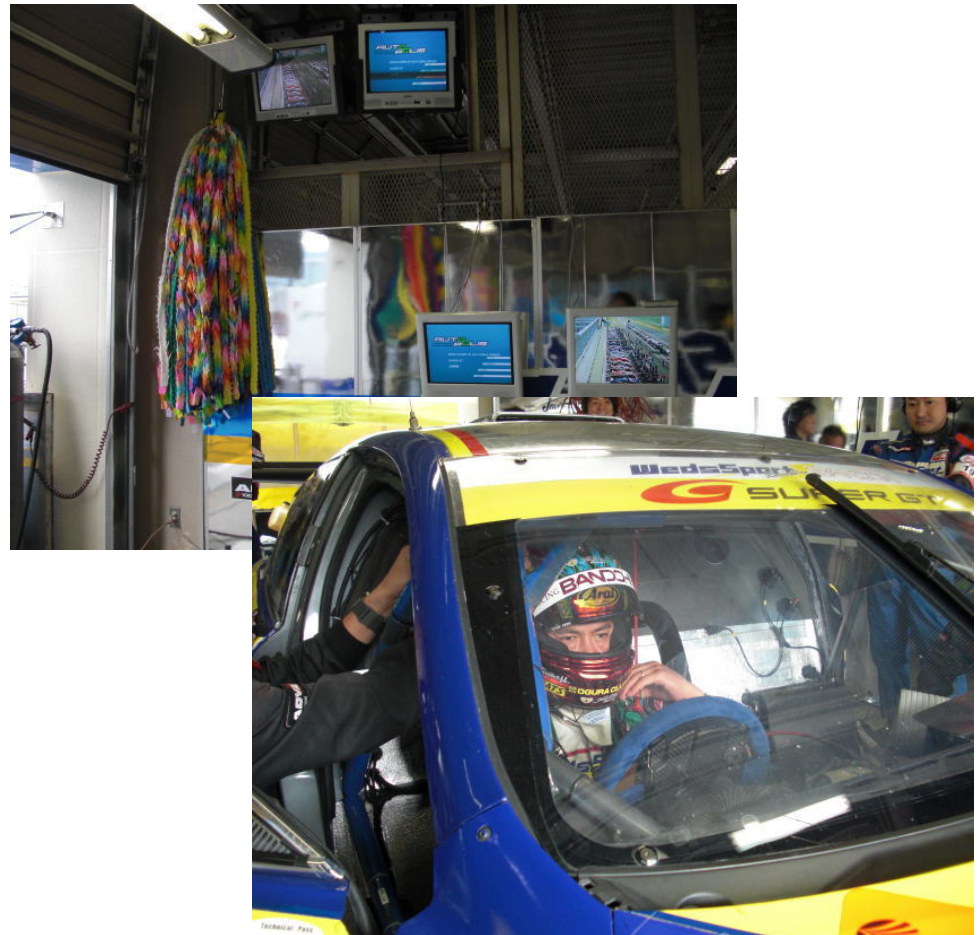
フリー走行 9:05～10:50(混走)

天気:曇 / 路面:ウエット/ドライ 気温17度 / 路温19度

秋から冬へ変わる寒さの中、チャンピオン争いに重要なレースを迎える。天気予報の通り雨がパラつくが、路面を濡らすまでにはならなかった。スタートは織戸選手。ウエット宣言が出ていたがスリックタイヤでスタートする。2LAP目に1分56秒276を記録し暫定トップタイムとなる。4LAP目に1分53秒857を記録し、ベストタイムをたたき出し暫定トップを保持していたが、セティング変更の為ピットに入っている間、43号車ガライヤが1分53秒087を記録しトップに躍り出る。

その後もセット変更、タイヤ選択でピット作業を繰り返しコンスタントに53秒台を記録し続けるが、24LAP目に片岡選手と交替する。予選のセットを確認しつつ走行するもクリアラップが取れず、55秒台の走行を強いられる。想定していた路面温度より気温、路面温度が低く、最終結果は8位となった。トップタイムは43号車ガライヤ、チャンピオン争いをしている2号車紫電は7位と同一ポイントチームが上位に揃った結果となった。

午後の予選とスーパーラップを目指すべくメカニックが迅速に作業に入った。



WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

★ウエットアイ★
Wet Element Racing
北陸自動車競技グループ

アルファプロデュース

NUTECH

JMS

AD アイシン開発

ETAS

INTERFAMA

KDC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILLION

NEOSUN 后援商品 TOKOH



アルファプロデュース



予選1回目 12:40~13:10(混走) / 13:10~13:20(GT300)

天気:曇 / 路面:ドライ 気温17度 / 路温19度

天候は変わらず曇り、路面温度も上がらず午前中と同じ状況から始まった。最初のアタックは片岡選手。5LAPを走行し、4LAP目に1分53秒412を記録し暫定トップとなる。その後、織戸選手に交替する。混走時間の中にスーパーラップに向けてセッティングを詰める。GT300クラス占有時間では一時6番手まで下がるが1分52秒657を記録し4番手となった。これでスーパーラップ進出が確定したが、またしてもトップは43号車ガライヤで1分52秒312を記録した。2号車紫電もスーパーラップ進出を果たした。

スーパーラップ 14:35~

天気:曇 / 路面:ドライ 気温17度 / 路温19度

予選1回目の上位8台のみがポールポジションを目指してアタックする。予選1回目に4番手タイムを出したウェッズスポーツIS350は織戸選手のアタックで5番目の走行となる。最初の走行は予選1回目8番手タイムを出した7号車両宮RX7、1分52秒446を記録しこのタイムが基準タイムとなる。2番目に走行した74号車カローラアクシオが脅威の1分51秒204を記録し暫定トップに躍り出る。3番目11号車ジムゲイナーフェラーリ、4番目2号車紫電と記録更新にならず、19号車ウェッズスポーツIS350の出番となる。織戸選手が懸命なアタックをするが路面温度が低すぎタイム更新とはならず1分52秒564となり暫定5番手となるが、最後のアタック43号車ガライヤが1分51秒007を記録しポールポジションを獲得した。ポイント争いをしている2号車は4番手となり、19号車ウェッズスポーツIS350は後方からの追い上げとなるが、レースに強いレーシングプロジェクトバンドゥは表彰台の真ん中を目指し明日の決勝を戦っていく。



WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

★☆☆☆☆
Win Effect Racing
北陸自動車競技グループ

アルファプロデュース

NUTECH

JMS

AD アイシン開発

ETAS

ULTRAFLEX

KBC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR VIEW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILION

NEOSUN 后援商品 TOKOH

監督、ドライバーコメント

坂東監督

予想通り、厳しい予選でしたが、スーパーラップに残れた時点で満足しています。スーパーラップのターゲットタイムが51秒台と言うのは予想していましたが、決勝ではライバル勢の後方から追上げる為、相手の動きを把握しながら作戦を立てて行きたいと思います。ライバル勢にはプレッシャーを与えつつチーム力で表彰台を目指します。

織戸選手

予選は残念な結果でした。今回持ち込んだタイヤがサーキットのコンディションに合わず、苦戦しましたが、なんとかスーパーラップに残れました。決勝に向けて、車は良い方向なので8番手からでも表彰台を狙えるので、行きます。

片岡選手

練習から車の調子は良く、予選1回目までは調子良かったのですが、気温と路面温度が低かった為、思ったパフォーマンスが出せませんでした。手ごたえは十分にあるので、8番手スタートですが、トップを狙えると思うので、ポイント争いを考えても必ずライバルの前でゴールできるようにがんばります。



10月18日(日)

午前フリー走行 8:30~9:00

天気:曇 / 路面:ドライ 気温11度 / 路温13度

昨日より気温の低い朝、決勝を見据えての走行が始まる。

スタートは片岡選手。マシンの確認を行うがあまりに気温と路面温度が低すぎる為、タイムが伸びない。4LAP目に片岡選手が1分54秒703がベストタイムとなる。

その後、織戸選手に交代し、最終確認となる。ここで決勝に向けてのセット変更を決め、午後の決勝に挑む。楽な戦いではないが表彰台は見てきた。

フリー走行の結果は12番手となり、トップは46号車MOLAZで1分53秒613となった。午後は晴れの予報なので気温が上がることを期待したい。

決勝 14:00~(65LAP)

天気:晴れ / 路面:ドライ 気温17度 / 路温26度

午後は午前中に比べ気温、路面温度が上がり、19号車ウェッズスポーツIS350に有利な風向きとなった。スタートドライバーは片岡選手、今回の作戦は走行中のポジションで作戦を変えることとなるが、後半の織戸選手がロングステントとなる予定だ。8番手スタートの19号車ウェッズスポーツIS350はスタートの1コーナーで7号車雨宮RX7がコースアウトした為、7番手にポジションアップする。3LAP目には26号車タイサンポルシェに先行され、8番手となる。その後は7番手を行く46号車MOLAZ、後方の7号車雨宮RX7の3台が接近戦となり序盤から気の抜けないレースとなる。15LAPの長いバトルは順位の入替えも激しく、20LAP過ぎにはポイント争いを行っている2号車紫電もトップ争いに絡んできた。トップ43号車、19号車ウェッズスポーツIS350は8番手。トップから19号車ウェッズスポーツIS350まで団子状態となる。前の46号車のペースが上がらず、オートポリスは抜きづらいサーキットなのでピットに早めに入れる作戦にした。25LAP目に織戸選手に交代する。戻ったときの順位は11番手となったが、ピットストップのタイミング、ピット作業がミスもなく迅速に行われた為、ピット作業の終わったチームの中ではトップとなる。



織戸選手GT参戦
100戦記念

WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOICHHAMA

★☆☆☆☆
Win Element Racing
北陸自動車競技グループ

アルファプロデュース

NUTECH

DRIVE
JMS

AD アイシン開発

ETAS

INTERFAMA

KBC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILLION

NEOSUN 后援商品 TOKOH

WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRP

ADVAN
YOKOHAMA

★☆☆☆☆
Win Effect Racing
北陸自動車競技グループ

アルファプロデュース

NUTECH

JMS

アイシン開発

ETAS

ULTRAFLEX

KBC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR WINDOW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILION

NEOSUN 后援商品 TOKOH

しかし、後方にいるのは19号車ウェッズスポーツIS350より1LAP速めにピットに入った11号車が迫る。前を行くマシンはピット作業に入りだす為、順位が入れ替わっていく。19号車ウェッズスポーツIS350は次第に順位を上げていく、31LAP目には4番手、35LAP目には2番手、そして、37LAP目には26号車タイサンポルシェをかわし、トップに躍り出る。後方から追いつけてくるマシンはピット作業終了後の26LAP目からびったりとついてくる11号車ジムゲイナーフェラーリで、コンマ5秒以内のタイムで27LAPもの長いバトルが続く。53LAP目、GT500のマシンとの遭遇により11号車ジムゲイナーフェラーリにトップを明け渡してしまうが、織戸選手は懸命に追いつける。1秒以内で追走していくが、タイヤのきつくなった59LAP目に痛恨の単独スピンをする。その間に後方を走っていた7号車雨宮RX7にかわされ3番手にポジションダウンしてしまう。60LAP目のファイナルラップは3番手でゴール、チャンピオン争いをしている43号車は4番手、2号車は16番手でチェッカーを受けた。これでチャンピオン争いは今回優勝した11号車と8番手に入った46号車、そして2位表彰台の7号車と加わり6台となった。

ポイント争いは熾烈な争いとなる。しかし、ポイントランキングトップに返り咲き最終戦もてぎに挑むことになった19号車ウェッズスポーツIS350は確実にチャンピオン獲得を目指し、もてぎで美酒を浴びることになるだろう。



WedsSport

LEXUS

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

★☆☆☆☆
Win Element Racing
北陸自動車競技グループ

アルファプロデュース

NUTEC

JMS

AD アイシン開発

ETAS

INTERFAMA

KBC

705

ENDLESS GruppeM

KTEL REAR VIEW MONITOR

KYB ÖHLINS

TAKATA ODYSSEY

SARD APP

BRIDE BILION

NEOSUN 后援商品 TOKOH

決勝後のコメント

織戸選手

凄く良いレースでしたが、個人的には抑え切れなかったこと、最後に自分のミスでポジションを下げてしまったことが悔しいです。車は昨日のコンディションとは違いとても良い状態でした。これでポイントリーダーになれましたので、最終戦はノリノリでチャンピオンを獲得します。



片岡選手

今日は8番手からスタートして車の調子は良かったが、前半のレース展開が悪く、前に詰まってしまうようなペースがつかめませんでした。トップ集団との差が詰まってきたタイミングでピットに入れたし、ピットワークも完璧でした。そのおかげでトップに躍り出られたのですが、思いのほか2番手の車が早く織戸選手もプッシュし続けたのですが、GT500クラスとのタイミングが悪く、トップを譲るかたちになってしまいました。



その後も織戸選手がプッシュし続けてくれて追い詰めて行ったのですが3番手で今回のレースを終えました。しかし、ポイントリーダーに返り咲いたし、うちのチームは攻めのチームなので最終戦に向けて攻め続けます。

坂東監督

予選8番手から3番手まで上がったのはドライバー、チームの結束力だと思います。ポイントリーダーで最終戦に行くのが今回の目標だったので、目標も達成し、表彰台にものれました。ピット作戦ではタイヤ2本交換と4本交換でかなり悩みましたが、ドライバーとヨコハマタイヤさんとの意見を踏まえ4本交換で行きました。シリーズ争いは6台に絞られましたが、次のもてぎに向けて、チーム、ヨコハマタイヤさんと綿密なミーティングを持ち、より良いパフォーマンスを出せるよう体制作りをしていきたいと思っています。もてぎは行きます。



アルファプロデュース

予選結果(SUPER LAP)

1	43	ARTA Garaiya	1' 51.007
2	74	COROLLA Axio apr GT	1' 51.204
3	11	JIMGAINER ADVAN F430	1' 51.421
8	19	ウェッズスポーツIS350	1' 52.564

決勝結果

1	11	JIMGAINER ADVAN F430	1:59' 30.531
2	7	M7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC 7	0' 01.528
3	19	ウェッズスポーツIS350	1LAP
4	43	ARTA Garaiya	1LAP

チームランキング

1	19	RACING PROJECT BANDO	98
2	43	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	95
3	11	JIMGAINER	92
4	7	M7 RE雨宮レーシング	88

ドライバーランキング

1	19	織戸 学 / 片岡 龍也	74
2	43	新田 守男 / 高木 真一	71
3	11	田中 哲也 / 平中 克幸	71
4	7	谷口 信輝 / 折目 遼	67